

最北村につき

～地域おこし協力隊の挑戦～



いちごの栽培に向けて ＼「苗」から「野菜」へ／

10月上旬に植えた葉物野菜の苗。外は雪がちらつく季節になつても、ハウス内は20度を超える日もあり、すべての作物が毎日元気に成長しています。この1ヶ月以上の間、作物を育てながらハウス内の環境を整える努力を続けました。

当初、ハウス内の通路は土を踏み固めただけのものでした。しかし水を含むと靴底に泥が付いて滑りやすく、危険…そこで、余った防草シートをすべての通路に敷いたことで格段に歩きやすくなり、雑草も減りました。

また、作物が大きくなると同時に、害虫による被害が目立つようになりました。発生源を探すと、ハウスの隅に残った雑草の根元に幼虫が…。狭い隙間に手を伸ばして雑草を抜き取り、残った雑草には作物用に購入した殺虫剤を散布しました。このように、工夫しながら手探りで様々な問題に対処しています。

そんな地道な作業を続けていく横で、作物は驚くほどの速さで成長しました。当初は「苗」だったものが、今では「野菜」の面影を感じるほど。この広報誌が発行される頃には、初収穫も間近となっているかと思います。(塚田治幸・飯田大志)



リーフレタスは、
一ヶ月でこんなに
大きくなりました。

＼WOW／



今年は、私たち協力隊にとって挑戦の毎日でした。目の前のことを一つずつ乗り越え、一歩ずつ階段を登ってきたことで、見える景色が日々変わってきたように感じます。
来年も、自分たちができること、自分たちしかできないことで、猿払村に貢献できたら嬉しいです。(春日井さつき)